

解放後の韓国大衆歌謡の年表 3 (1951 年)

山根 俊郎

1951 年

(出典: 韓国のウェブサイト「KPOP」)

関連事件

8月(釜山) コロナレコード簡易吹込所設置

主要人物

この頃、作曲家 孫夕友(男性 ツ・ソグ 1920-) 作詞活動を始める。

この頃、女優兼歌手 羅愛心(女性 ナ・エム 1931-平安南道 鎮南浦出身) 越南して本名の全鳳仙(チヨン・ボンソン)で舞台活動を始める。羅愛心の実兄は作曲家全吾承(チヨン・オソン 1923-)である。

歌手 李寅權(男性 イ・イクサン 1919-1973) この頃から作曲活動を始める。

主要作品

『あなたのいる前線』琴糸響(女性 クム・サヒヤン 1929-) が歌いオリエントレコードから音盤発売、⇒(注) 1951 年は疑わしい。1952 年が有力である。

『妻の歌』⇒(注) 正しくは 1952 年に俞湖(男性 ユ・ホ 1921-) が改詞、リメイクして沈蓮玉(女性 ム・ヨンオク 1928-) が歌いオリエントレコードから音盤発売。

『涙のワルツ』⇒(注) 正しくは 1952 年に宋曼道(女性 ツ・ミド 1925-) が歌い(釜山)コロナレコードから音盤発売。元唄は、米国のペティ・ペイジが歌った『I went to your wedding』孫夕友が歌詞を韓国語に訳した「翻案歌謡」(外国の歌は韓国語に翻案して歌われた)である。

その他社会文化的な事件

2月居昌良民虐殺事件、4月国立国楽院開院、12月自由党創立

外国大衆歌謡音楽史 主要事件

日本で LP 音盤の生産始める

日本で『越後獅子の唄』(1951 年西条八十詞、万城目正曲、美空ひばり唄)、『高原の駅よ さようなら』(1951 年佐伯孝夫詞、佐々木俊一曲、小畑実=康永詰唄)などヒット

1951年の流行

(出典: 「写真で見る光復 30 年史」(1945 年~1974 年) 正音社 1975 年発行 P106)

服装—ナイロン(나일론)、脱色ズボン(탈색 바지)、

流行語—閣下(각하)、UN師母ニム(UN사모님、UN奥さま)=UNマダムや洋公主(янコンジュ)と同じく米国の軍人を相手にする女性)を指す言葉。ナイロン国(나일론국)、他にナイロン紳士(신사)やナイロン煙草(담배)がある。

流行歌—『あなたのいる前線』(ニム ケシソヨンソン 임 계신 전선)

『戦友よ 安らかに眠れ』(チョヌヨ チャル チャコラ 전우야 잘 자라) 俞湖詞・朴是春曲・玄仁唄 1950 年 10 月ソウル収復時に俞湖と朴是春(男性パク・シュン 1913-1996)が偶然に再会、一夜で創作した陣中歌謡。



☆オリエントレコード

社が制作した軍歌

戦災を免れた大邱のオリエントレコード社長兼作曲家の李炳主（イ・ビヨンジュ 1919-）は大邱の聖堂に事務所があった陸軍本部の政訓監である李瑄根博士（イ・ソンゴン 1905-1983 韓国学中央研究院初代院長）を訪問して軍歌の制作の必要性を訴えて賛同を得た。そして、軍歌普及団長の越南作曲家 金東振（クム・トンジン 1913-2009）が軍歌 6 曲を選定してオリエントレコードから 1951 年に制作された。

「表1」1951年に創作された軍歌

1 A面	軍歌『6・25の歌』(6・25 エル 6・25 의노래) 朴斗鎮詞・金東振曲・李想春+金天愛唄。51年6月24日オリエントレコード制作。0001 陸軍政訓監室選定。国防部政訓局 伴奏 陸軍交響楽団
1 B面	詩朗誦『7月の歌』(7 ウオルル 7 월의노래)作詩・朗誦 揚明文、間奏曲『私の祖国』51年6月24日オリエントレコード制作。0002 陸軍政訓監室選定。国防部政訓局 伴奏 陸軍交響楽団
2	軍歌『陸軍歌』(ユククル 육군가)金東振曲・陸軍軍楽隊合唱団。51年オリエントレコード制作。伴奏 陸軍軍楽隊
3	軍歌『武器愛護の歌』(무기애호의노래)權柄曲・陸軍軍楽隊合唱団。51年オリエントレコード制作。伴奏 陸軍軍楽隊
4	『愛国歌』(애국가)金熙祚編曲・李ヨンスク+陸軍軍楽隊合唱団。51年オリエントレコード制作。伴奏 陸軍軍楽隊
5	『はためく太極旗』(비나린우선테그크이 휘날리는 태국기)チョン・ドンジュ 正東主詞・曲・金熙祚編曲、李ジョンスン+李ヨンスク+陸軍軍楽隊合唱団。51年オリエントレコード制作。伴奏 陸軍軍楽隊 49年に陸軍軍楽学校で行政課長として勤務していたチョン・ドンジュが国旗掲揚隊ではためく太極旗を見ていて曲想を得て作詞、作曲した。

続く（次号は「1952年」を書きます）